

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2020年度シラバス

| | | | |
|----------------|---|---------|-----------------|
| 科目名 | 経済原論Ⅱ | 担当教員 | 櫻田 和久 |
| | | (実務の経験) | 有・ 無 |
| 対象学科・学年 コース | 公務員上級学科 | 学期・区分 | 後期・必修 |
| | | 授業週数 | 15週 |
| 授業の形式 | 講義・演習 | 単位数・時間 | 6単位・90時間 |
| 授業の概要 | 後期はミクロ経済学の残りとマクロ経済を中心に講義を進めていく。マクロ経済の基本を理解することを目標に授業に臨む。公務員試験の問題に対応できるように、実践的な問題演習をする。 | | |
| 到達目標 | マクロ経済学の基本的な理論を理解する。公務員試験の問題を解いていく。問題を解くための数学的な基本知識を習得する。公務員大卒程度試験の合格を目指す。 | | |
| 使用教材等 | 『スーパー過去問ゼミ マクロ経済学』(実務教育出版) | | |
| 授業計画 | | | |
| 第1週 | テーマ22 比較生産費説と貿易三角形 リカード・モデルに基づいた自由貿易理論を理解する。 | | |
| 第2週 | マクロ経済学の概要を説明する。ケインズ経済学が生まれた背景とその有効性について理解する。 | | |
| 第3週 | テーマ2 IS曲線 定義、投資の依存関係、貯蓄の依存関係、からIS曲線が導き出されることを理解する。特殊なIS曲線、IS曲線のシフトについて理解する。 | | |
| 第4週 | テーマ3 LM曲線 定義、貨幣需要、貨幣市場の均衡からLM曲線が導出されることを理解する。特殊なIS曲線、IS曲線のシフトについて理解する。流動性のわなについて理解する。 | | |
| 第5週 | テーマ4 IS-LM分析 財政政策と金融政策の効果、特にクラウディング・アウトを理解する。財政政策の財源、金融政策の手段について理解する。 | | |
| 第6週 | テーマ5 マンデル・フレミング・モデル 国際収支均衡線、固定相場制と変動相場制の場合の金融政策と財政政策の有効性について理解する。マンデルのポリシー・ミックスを理解する。 | | |
| 第7週 | テーマ6 消費関数 ケインズの理論の欠陥を補う諸理論を理解する。テーマ7 投資関数 構造、加速度原理と公式、資本ストック調整原理、新古典派の投資理論、調整費用モデル、トービ | | |
| 第8週 | テーマ8 貨幣理論 信用創造、ハイパワードマネー、通貨、マネーストック、貨幣数量説、債権価格と利率の関係について理解する。テーマ9 乗数理論 基本概念、処理手順を理解する。 | | |
| 第9週 | テーマ10 IS-LM型の計算問題 処理手順、クラウディング・アウトの投資額の計算を理解する。 | | |
| 第10週 | テーマ11 総需要曲線 IS-LM分析から導出されることを理解する。シフトと形状を理解する。 | | |
| 第11週 | テーマ12 労働市場と総供給曲線 AD-AS分析。労働需要と古典派の第一公準を理解する。労働供給と古典派の第二公準を理解する。非自発的失業、古典派とケインズの総供給曲線の違い | | |
| 第12週 | テーマ13 フィリップス曲線 フィリップス曲線と自然失業率仮説、経済政策論争を理解する。テーマ14 インフレ需要曲線・供給曲線 基本概念、オーカンの法則、処理手順を理解する。 | | |
| 第13週 | テーマ15 ハロッド＝ドーマーの成長理論 保証成長率、自然成長率、現実の成長率、不安定性原理について理解する。 | | |
| 第14週 | テーマ16 新古典派の成長理論 ソロー＝スワン・モデルを理解する。公式、定常状態の $G=G_w=G_n$ 、新古典派の黄金律、計算の処理手順を理解する。 | | |
| 第15週 | テーマ17 GDP統計 GDPの概念、構成要素、三面等価の原則、物価指数を理解する。テーマ18 産業連関表 読み方、処理手順を理解する。 | | |
| 成績評価の方法 | 期末テスト80%・授業態度10%・出席状況10%により100点満点で評価する。 | | |
| 学生へのメッセージ | 難解な経済学を克服して、公務員試験に合格しましょう。 | | |
| 実務経験 | | | |

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2020年度シラバス

| | | | |
|----------------|---|---------|----------|
| 科目名 | 憲法Ⅱ | 担当教員 | 佐藤 伸弘 |
| | | (実務の経験) | ○・無 |
| 対象学科・学年 コース | 公務員上級学科 | 学期・区分 | 後期・必修 |
| | | 授業週数 | 15週 |
| 授業の形式 | 講義、演習 | 単位数・時間 | 4単位・60時間 |
| 授業の概要 | 日本の最高法規である日本国憲法を制定趣旨・制定過程まで遡り、①自由の基礎法、②制限規範、③最高法規という特色及び国民の権利について定めた「人権」、国の政治の仕組みを定めた「統治」を的確に指導します。 | | |
| 到達目標 | 「人権」では公務員試験の出題実績を踏まえ、判例の骨子(キーワード)を的確に指導します。「統治」では判例、学説及び条文テストを通じ、公務員試験に必要な確実な知識を習得します。 | | |
| 使用教材等 | 公務員Vテキスト憲法(TAC出版) 公務員過去問精選問題集 出たDATA問 憲法(七賢出版) 公務員試験六法2021(三省堂) | | |
| 授業計画 | | | |
| 第1週 | ・統治(国会①) ・過去問演習、条文テスト | | |
| 第2週 | ・統治(国会②) ・過去問演習、条文テスト | | |
| 第3週 | ・統治(内閣①) ・過去問演習、条文テスト | | |
| 第4週 | ・統治(内閣②) ・過去問演習、条文テスト | | |
| 第5週 | ・統治(裁判所①) ・過去問演習、条文テスト | | |
| 第6週 | ・統治(裁判所②) ・過去問演習、条文テスト | | |
| 第7週 | ・統治(裁判所③) ・過去問演習、条文テスト | | |
| 第8週 | ・統治(統治まとめ) ・過去問演習、条文テスト | | |
| 第9週 | ・人権(前文) ・人権(人権の主体) | | |
| 第10週 | ・人権(平等権) ・人権(精神的自由①) | | |
| 第11週 | ・人権(経済的自由①) ・人権(人身の自由) | | |
| 第12週 | ・人権(社会権) ・人権(参政権) | | |
| 第13週 | ・期末試験対策 ・期末試験 | | |
| 第14週 | ・人権及び統治総まとめ | | |
| 第15週 | ・最新判例及び違憲判決の確認 | | |
| 成績評価の方法 | 期末テスト60% 単元(条文)テスト30% 授業態度10%により総合的に評価 | | |
| 学生へのメッセージ | テキスト、公務員試験六法を準備ください。 | | |
| 実務経験 | 佐藤 伸弘氏は、エール行政書士法務事務所 代表。行政書士の資格を持ち、事務所を開業し会社の設立・許認可・相続等の各種申請書類等を作成している。 | | |

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2020年度シラバス

| | | | |
|----------------|--|---------|-----------------|
| 科目名 | 行政学 | 担当教員 | 櫻田 和久 |
| | | (実務の経験) | 有・ 無 |
| 対象学科・学年 コース | 公務員上級学科 | 学期・区分 | 後期・必修 |
| | | 授業週数 | 15週 |
| 授業の形式 | 講義・演習 | 単位数・時間 | 2単位・30時間 |
| 授業の概要 | マクロ経済学を学びながら、行政における経済政策立案を考える。公務員試験の問題に対応できるように、実践的な問題演習をする。 | | |
| 到達目標 | 試験の問題を解いていく。マクロ経済学と経済政策立案の関係を把握する。公務員大卒程度試験の合格を目指す。 | | |
| 使用教材等 | 『スーパー過去問ゼミ マクロ経済学』(実務教育出版) | | |
| 授業計画 | | | |
| 第1週 | テーマ22 比較生産費説と貿易三角形 問題演習。 テーマ24 貿易理論 問題演習。 | | |
| 第2週 | マクロ経済テーマ1 45度線分析 問題演習。 | | |
| 第3週 | テーマ2 IS曲線 問題演習。 | | |
| 第4週 | テーマ3 LM曲線 問題演習。 | | |
| 第5週 | テーマ4 IS-LM分析 問題演習。 | | |
| 第6週 | テーマ5 マンデル・フレミング・モデル 問題演習。 | | |
| 第7週 | テーマ6 消費関数 問題演習。 | | |
| 第8週 | テーマ8 貨幣理論 問題演習。 テーマ9 問題演習。 | | |
| 第9週 | テーマ10 IS-LM型の計算問題 問題演習。 | | |
| 第10週 | テーマ11 総需要曲線 問題演習。 | | |
| 第11週 | テーマ12 労働市場と総供給曲線 問題演習。 | | |
| 第12週 | テーマ13 フィリップス曲線と自然失業率仮説 問題演習。 テーマ14 インフレ需要曲線・供給曲線 問題演習。 | | |
| 第13週 | テーマ15 ハロッド=ドーマーの成長理論 問題演習。 | | |
| 第14週 | テーマ16 新古典派の成長理論 問題演習。 | | |
| 第15週 | テーマ17 GDP統計 問題演習。 テーマ18 産業連関表 問題演習。 | | |
| 成績評価の方法 | 期末テスト80%・授業態度10%・出席状況10%により100点満点で評価する。 | | |
| 学生へのメッセージ | 難解な経済学を克服して、公務員試験に合格しましょう。 | | |
| 実務経験 | | | |

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2020年度シラバス

| | | | |
|----------------|---|---------|-----------------|
| 科目名 | 行政法Ⅱ | 担当教員 | 佐藤 伸弘 |
| | | (実務の経験) | 有・ 無 |
| 対象学科・学年 コース | 公務員上級学科 | 学期・区分 | 後期・必修 |
| | | 授業週数 | 15週 |
| 授業の形式 | 講義、演習 | 単位数・時間 | 4単位・60時間 |
| 授業の概要 | 行政法は、①行政組織法、②行政作用法、③行政救済法に分類されます。国(地方公共団体)と国民(住民)との関係について、講学上の概念、条文、判例のポイント及び横断的な学習を図ります。 | | |
| 到達目標 | 公務員試験の出題実績を踏まえ、判例の骨子(キーワード)、条文及び講学上の概念を的確に指導します。また、単元テストを通じ、確実な知識の定着を図ります。 | | |
| 使用教材等 | 公務員Vテキスト行政法(TAC出版) 出たDATA問 行政法(七賢出版) 公務員試験六法2021(三省堂) | | |
| 授業計画 | | | |
| 第1週 | ・行政法全体像の把握(プリントを使用) ・行政法総論 | | |
| 第2週 | ・行政法全体像の把握(プリントを使用) ・行政法総論 | | |
| 第3週 | ・行政法作用(行政行為①) ・過去問演習、単元テスト | | |
| 第4週 | ・行政法作用(行政行為②) ・過去問演習、単元テスト | | |
| 第5週 | ・行政法作用(行政上の強制措置) ・過去問演習、単元テスト | | |
| 第6週 | ・行政法作用(行政手続法①) ・過去問演習、単元テスト | | |
| 第7週 | ・行政法作用(行政手続法②) ・過去問演習、単元テスト | | |
| 第8週 | ・行政法作用(情報公開法) ・過去問演習、単元テスト | | |
| 第9週 | ・行政救済(損失補償) ・過去問演習、単元テスト | | |
| 第10週 | ・行政救済(国家賠償法①) ・過去問演習、単元テスト | | |
| 第11週 | ・行政救済(国家賠償法②) ・過去問演習、単元テスト | | |
| 第12週 | ・行政救済(行政不服審査法①) ・過去問演習、単元テスト | | |
| 第13週 | ・行政救済(行政不服審査法②) ・過去問演習、単元テスト | | |
| 第14週 | ・行政救済(行政事件訴訟法①) ・過去問演習、単元テスト | | |
| 第15週 | ・行政救済(行政事件訴訟法②) ・過去問演習、単元テスト | | |
| 成績評価の方法 | 期末テスト60% 単元(条文)テスト30% 授業態度10%により総合的に評価 | | |
| 学生へのメッセージ | テキスト、公務員試験六法を準備ください。 | | |
| 実務経験 | | | |

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2020年度シラバス

| | | | |
|----------------|---|---------|-----------------|
| 科目名 | 時事研究Ⅱ | 担当教員 | 櫻田 和久 |
| | | (実務の経験) | 有・ 無 |
| 対象学科・学年 コース | 公務員上級学科 | 学期・区分 | 後期・必修 |
| | | 授業週数 | 15週 |
| 授業の形式 | 講義・演習 | 単位数・時間 | 2単位・30時間 |
| 授業の概要 | 時事問題に触れながら、問題点を考え学習します。マスメディアを通じ、社会に関心を持ち社会に貢献できる人間の育成を目指します。特に、世界史、日本史に関する知識を重視する。 | | |
| 到達目標 | 公務員として必要な時事の知識を世界史・日本史的な視点から理解する。公務員大卒程度試験の合格を目指す。 | | |
| 使用教材等 | 公務員試験 プリント | | |
| 授業計画 | | | |
| 第1週 | 米ソの対立から緊張緩和や軍縮交渉の流れを理解する。ソ連のゴルバチョフの改革後、社会主義諸国に民主化が進み、ソ連の崩壊で冷戦が終結する過程を理解する。 | | |
| 第2週 | 中東地域を中心に4回の中東戦争、イラン＝イラク戦争、湾岸戦争、アメリカ同時多発テロ事件などが発生することを理解する。 | | |
| 第3週 | 殷が最初の王朝であることを甲骨文字で理解し、祭政一致の支配体制を理解する。周の封建制を理解する。 | | |
| 第4週 | 春秋時代の覇者について理解する。戦国時代の下克上について理解する。秦の始皇帝の中央集権支配について理解する。漢の支配体制と文化について理解する。 | | |
| 第5週 | 後漢滅亡後の中国の混乱について理解する。三国時代・晋・五胡十六国・北魏・東晋・南朝という王朝の変遷について理解する。 | | |
| 第6週 | 隋の均田制・租庸調制・府兵制・科挙について理解する。唐の律令制度について理解する。 | | |
| 第7週 | 唐末・五代の支配階層の交代について理解する。宋の文治主義について理解する。征服王朝(遼・金)について理解する。モンゴル帝国の成立と元の中国支配について理解する。 | | |
| 第8週 | 明の漢民族の王朝復活と北虜南倭について理解する。清の満州族支配体制について理解する。清末のアヘン戦争後の欧米の侵略過程を理解する。 | | |
| 第9週 | 孫文による中国革命について理解する。国民党と共産党の対立について理解する。日本の中国侵略の過程を理解する。 | | |
| 第10週 | 第二次大戦後の中国と中華人民共和国の成立について理解する。共産主義体制の下での国家建設を理解する。 | | |
| 第11週 | 文化大革命による中国の混乱とその後の改革開放による経済発展について理解する。 | | |
| 第12週 | 国際関係論 国際政治についてと国際連合。 | | |
| 第13週 | 国際関係論 国際関係の理論、リアリズムとリベラリズムについて。 | | |
| 第14週 | 財政学 国家財政について。 | | |
| 第15週 | 財政学 地方財政について。 | | |
| 成績評価の方法 | 期末テスト80%・授業態度10%・出席状況10%により100点満点で評価する。 | | |
| 学生へのメッセージ | 公務員試験の一般教養試験の実力をつけよう。 | | |
| 実務経験 | | | |

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2020年度シラバス

| | | | |
|----------------|---|---------|-----------------|
| 科目名 | 数的推理Ⅱ | 担当教員 | 熊田 直哉 |
| | | (実務の経験) | 有・ 無 |
| 対象学科・学年 コース | 公務員上級学科 | 学期・区分 | 後期・必修 |
| | | 授業週数 | 15週 |
| 授業の形式 | 講義・演習 | 単位数・時間 | 2単位・30時間 |
| 授業の概要 | 来年の公務員試験に向けて、数的推理の基礎を中心に自ら進んで学習する習慣を身につける。また、数的推理を通して、基本的な計算能力を身につける。 | | |
| 到達目標 | 数的推理の解法を網羅する。翌年の公務員試験で目標点数に達することが出来ることを目標とする。 | | |
| 使用教材等 | 上・中級公務員標準数的推理(改訂版) 実務教育出版 | | |
| 授業計画 | | | |
| 第1週 | 第10章平面図形(講義と演習) : 平面図形の性質や解法を身につける。図形を正確に処理する。 | | |
| 第2週 | 第10章平面図形(講義と演習) : 平面図形の性質や解法を身につける。図形を正確に処理する。 | | |
| 第3週 | 第11章平面図形その2(講義と演習) : 図形を利用した問題の解法を身につける。 | | |
| 第4週 | 第11章平面図形その2(講義と演習) : 図形を利用した問題の解法を身につける。 | | |
| 第5週 | 第12章平面図形その3(講義と演習) : 主に円に関する知識や公式を身につける。また、円に関する問題の解法を身につける。 | | |
| 第6週 | 第12章平面図形その3(講義と演習) : 主に円に関する知識や公式を身につける。また、円に関する問題の解法を身につける。 | | |
| 第7週 | 第10章～第12章の内容を小テストで復習し、知識や解法を確認する。 | | |
| 第8週 | 第13章空間図形(講義と演習) : 立体図形に関する性質や問題の解法を身につける。 | | |
| 第9週 | 第13章空間図形(講義と演習) : 立体図形に関する性質や問題の解法を身につける。 | | |
| 第10週 | 第14章場合の数(講義と演習) : 基礎的な知識や問題の解法を身につける。 | | |
| 第11週 | 第14章場合の数(講義と演習) : 基本的問題から応用問題の解法を身につける。 | | |
| 第12週 | 第15章確率(講義と演習) : 基礎的な知識や問題の解法を身につける。 | | |
| 第13週 | 第15章確率(講義と演習) : 基本的問題から応用問題の解法を身につける。 | | |
| 第14週 | 第13章～第15章の内容を小テストで復習し、知識や解法を確認する。 | | |
| 第15週 | 後期の内容を総復習するために、様々な問題を解く。過去問などの難易度の高い問題にも対応できるようにする。 | | |
| 成績評価の方法 | 期末テスト60%、小テスト30%、授業参加度10%により総合的に評価する。 | | |
| 学生へのメッセージ | 毎日の積み重ねが重要です。復習を重視して、頑張りましょう。 | | |
| 実務経験 | | | |

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2020年度シラバス

| | | | |
|----------------|---|---------|-----------------|
| 科目名 | 判断推理Ⅱ | 担当教員 | 三島 和弘 |
| | | (実務の経験) | 有・ 無 |
| 対象学科・学年 コース | 公務員上級学科 | 学期・区分 | 後期・必修 |
| | | 授業週数 | 15週 |
| 授業の形式 | 講義、演習 | 単位数・時間 | 2単位・30時間 |
| 授業の概要 | 来年の公務員試験に向けて、判断推理の基礎を中心に自ら進んで学習する習慣を身につける。また、判断推理を通して、柔軟な考え方や発想力を身につける。 | | |
| 到達目標 | 判断推理の解法を網羅する。 翌年の公務員試験で目標点数に達することが出来ることを目標とする。 | | |
| 使用教材等 | 上・中級公務員標準判断推理(改訂版) 実務教育出版 | | |
| 授業計画 | | | |
| 第1週 | 第8章位置関係(講義と演習) : 方位に関する知識のまとめや問題の解法を身につける。 | | |
| 第2週 | 第8章位置関係(講義と演習) : 方位以外に関する知識のまとめや問題の解法を身につける。 第9章手順(講義と演習) : 問題ごとの特徴を整理し、解法を身につける。 | | |
| 第3週 | 第10章道順(講義と演習) : 多くの問題を解き、解法を身につける。 第11章位相(講義と演習) : 一筆書きを中心として、問題の解法を身につける。 | | |
| 第4週 | 第12章軌跡(講義と演習) : 図形ごとに整理し、演習問題を通して身につける。 | | |
| 第5週 | 第13章平面図形(講義と演習) : 基礎的な知識と基本的な問題の解法を身につける。 第15章多面体(講義と演習) : 重要事項の確認とそれに付随する内容を確認する。 | | |
| 第6週 | 第16章展開図(講義と演習) : 基礎的な知識の確認。演習問題を通して解法を身につける。 | | |
| 第7週 | 第1週～第6週の内容を小テストで復習し、知識や解法を確認する。 | | |
| 第8週 | 第1章～第7章の内容も含めて、これまで学習した内容の総復習を行い、知識や解法を確認する。 | | |
| 第9週 | 第14章空間図形(講義と演習) : 基礎的な知識の確認。演習問題を通して解法を身につける。 | | |
| 第10週 | 第17章立体の切断(講義と演習) : 基礎的な知識を確認する。立体の作成手順を確認する。演習問題を通して解法を身につける。 | | |
| 第11週 | 第18章折り紙(講義と演習) : 基礎的な知識の確認。演習問題を通して解法を身につける。 | | |
| 第12週 | 第9週～第12週の内容を小テストで復習し、知識や解法を確認する。 | | |
| 第13週 | 第1章～第7章の内容も含めて、これまで学習した内容の総復習を行い、知識や解法を確認する。 | | |
| 第14週 | 引き続き、総復習を行う。その中で過去問を解き、様々な解法を身につける。 | | |
| 第15週 | 引き続き、総復習を行う。その中で過去問を解き、様々な解法を身につける。 | | |
| 成績評価の方法 | | | |
| 学生へのメッセージ | | | |
| 実務経験 | | | |

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2020年度シラバス

| | | | |
|----------------|--|---------|-----------------|
| 科目名 | 民法Ⅱ | 担当教員 | 佐藤 伸弘 |
| | | (実務の経験) | 有・ 無 |
| 対象学科・学年 コース | 公務員上級学科 | 学期・区分 | 後期・必修 |
| | | 授業週数 | 15週 |
| 授業の形式 | 講義、演習 | 単位数・時間 | 8単位・120時間 |
| 授業の概要 | 民法は、①総則、②物権、③債権、④親族、⑤相続で構成されています。難解な条文及び判例を、日常生活の具体例から一般私法を意識します。また、民法の改正点を重視し、過去問題のみならず、予想問題にも適応できる能力を図ります。 | | |
| 到達目標 | 非常に膨大な条文から過去の公務員試験の出題実績を踏まえ、効率的に学習指導いたします。また、定期的な単元テスト実施により重要知識の集約と事務処理能力の向上を図ります。 | | |
| 使用教材等 | 公務員Vテキスト民法(下)(TAC出版) 公務員過去問精選問題集 出たDATA問 民法(七賢出版) 公務員試験六法2021(三省堂) | | |
| 授業計画 | | | |
| 第1週 | ・民法全体像の把握(プリントを使用) | | |
| 第2週 | ・民法全体像の把握(プリントを使用) | | |
| 第3週 | ・総則(権利の主体・客体) ・過去問演習、単元テスト | | |
| 第4週 | ・総則(法人) ・過去問演習、単元テスト | | |
| 第5週 | ・総則(意思表示①) ・過去問演習、単元テスト | | |
| 第6週 | ・総則(意思表示②) ・過去問演習、単元テスト | | |
| 第7週 | ・総則(代理) ・過去問演習、単元テスト | | |
| 第8週 | ・総則(時効) ・過去問演習、単元テスト | | |
| 第9週 | ・物権総論(所有権) ・過去問演習、単元テスト | | |
| 第10週 | ・物権総論(占有権) ・過去問演習、単元テスト | | |
| 第11週 | ・物権総論(用益物権) ・過去問演習、単元テスト | | |
| 第12週 | ・担保物権(抵当権) ・過去問演習、単元テスト | | |
| 第13週 | ・担保物権(留置権) ・過去問演習、単元テスト | | |
| 第14週 | ・担保物権(先取特権) ・過去問演習、単元テスト | | |
| 第15週 | ・担保物権(質権) ・過去問演習、単元テスト | | |
| 成績評価の方法 | 期末テスト60% 単元(条文)テスト30% 授業態度10%により総合的に評価 | | |
| 学生へのメッセージ | テキスト、公務員試験六法を準備ください。 | | |
| 実務経験 | | | |